



とうおん

業

お

め

で

と

う

議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

2025年

第77号

令和7年5月1日発行

シリーズ

地域のにぎわいを再び

下林ふるさと土曜市

公園の魅力度アップ

公園整備事業（植口公園など）

一般質問

10議員が市政を問う!!

上林小学校 卒業式





樋口公園に整備されたドッグラン

公園の魅力度アップ

公園整備事業（樋口公園など）

市民の皆さまに親しまれている3つの公園（樋口公園・見奈良緑地・茶堂公園）が生まれ変わりました。



あおの 哲幸さん

駐車場も整備されており、車で来やすいです。大好きなペット仲間が増えました。

◆ドッグランの整備
東温市内で初めて、公園の中にドッグランができました。「小型犬専用エリア」と「大型犬専用エリア」の2つのエリアがあります。令和5年3月27日から供用開始しており、平日・休日を問わず、多くの愛犬家にご利用されています。元気に駆け回る犬互いにじゃれ合う犬の様子が見られます。また、愛犬家同士の触れ合いの場にもなるなど、魅力あるスポットとなっています。また、樋口公園の北端に約30台分の駐車場も新設され、公園利用



「重信川さくら健康ロード」看板



愛犬とかけっこ

者の利便性の向上が図られています。ご利用の際には、安全に十分ご注意ください。



みんなで走る練習

◆「重信川さくら健康ロード」
重信川をはさんで、樋口公園・見奈良緑地・茶堂公園をつなぐ約3.8kmの周回コースが「重信川さくら健康ロード」と名付けられました。新たに案内看板を2か所（樋口公園と茶堂公園のトイレ前）に設置しています。看板には、分かりやすいコース図が掲載されています。安全で、ほどよい距離の周回コースとなっており、ランニングやウォーキングをしている市民が多くいます。何より、四季折々変化する河川敷の草木や



東温ランニングクラブのみなさん

走るのが大好きで、とても楽しいです。



東温ノルディック・ポールウォーキングクラブのみなさん

ロケーションがとてもよく、気持ちよく歩けます。

山並みの風景が広がっており、眺めがよいと利用者に好評です。運動不足の解消や健康増進、利用者同士の交流の場として、どうぞご利用ください。



地域のにぎわいを再び

下林ふるさと土曜日

毎月第2土曜日に元JA拝志支所前で開催しています。地域の集いの場になっています。



代表 河野 陽子さん

代表 松下 律子さん

季節の花や野菜・果物を準備しています。

皆様のご来場をお待ちしています。

◆活動状況は
JAの支所やガソリンスタンドが閉鎖され、地区内のコミュニティが希薄化するなか、何とかにぎわいを取り戻そうとの思いから、JA女性部の有志が中心となり、「下林ふるさと土曜日」を立ち上げました。地区内の人々が集える場所となっています。毎月第2土曜日（8・10・12月は行事等のため変更あり）に開いて



開催前の準備

土曜日は地域に活力を与える起爆剤となっており、地区全体で応援したいと考えております。



区長 越智 雄二さん

おり、野菜や果物、花き等、また不用品の家具・電気製品や衣類も販売されています。季節に合わせ、ストープや日除けテントの準備をし、コーヒーや甘酒などの接待をし、少しづつにぎわいが戻っています。



だんらんのひととき



にぎわう土曜日

◆今後の活動は
核家族化が進み、家庭では作るものが減った盆、正月、節句等の季節商品が充実しています。事前予約制度を設けるなどして、若者家族や高齢者など、地域のニーズに合わせ開催しています。

【下林区】
拝志小学校区で、重信川の南西部に位置し、平坦部と丘陵の中山間地域で、米麦・野菜の生産が主産業。少子高齢化が懸念される地域ではあるが、自治会活動は盛んである。3月末の人口は1239人（597世帯）

次回（78号）は「新村区」を取材予定です。



旬の野菜や果物を販売

◆議会への要望は
市の周辺部の少子化・高齢化の影響は私たちの想定を超え、様々な形となって地域行事や伝統文化の継承にも現れています。自分の足で地域の声や課題を探り、耳を傾けているのか、しっかりと議論していただきたいと思います。

避難所の強化に9億5千万円

水泳授業を民間へ委託

水泳授業委託事業 1262万円

重信中学校、拝志・上林・東谷・西谷小学校の水泳授業を民間委託 / 南吉井小学校は、民間屋内プールを借り上げて実施



問 民間委託することにした理由は。

答 令和6年度に一部の学校プールで原因不明の漏水が起き、一時的に他校のプールを使用して水泳授業を実施した。その際に授業時間の調整が課題となった。

また、1校当たり、改築・改修費用を含めた年間の維持管理費用は、約1000万円が必要となる。これに対して、水泳授業を民間委託した場合は、1校当たり、約100万円～約150万円となり、大幅な経費削減効果が見込めることから民間委託とした。また、教員の負担軽減にもつながると考えている。

愛称は「CRO × SPO 東温」

都市公園条例の一部改正

改正内容

重信川かわまちづくりに伴う公園整備に併せ、桜つつみ公園や緑地公園等の名称変更及び使用料改正を行うもの。

問 公園の名称決定の経緯は。

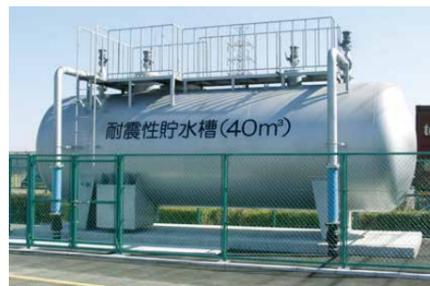
答 公募は、令和6年7月から市内小中学校の夏休み明けまで実施した。一般公募により57件、市内小中学校から130件、合計187件の応募をいただいた。最終的に2つの案に絞り、その1つの「東温スポーツフィールド」を条例上の正式名称に、もう1つの「CRO × SPO 東温」を愛称名とすることに決定した。

注目事業

飲料水12万リットル確保

避難所整備強化事業 9億5471万円

貯水槽や空調設備（停電時にはプロパンガスでの使用も可能）の整備による指定避難所の強化



小学校に設置予定の貯水槽

問 どの避難所に整備するのか。

答 南吉井・北吉井・川上小学校の3か所に飲料水兼用耐震性貯水槽40トンを3基設置することにより、12万リットルの水が確保できる。また、同時に規模に応じた冷暖房設備を体育館に整備する。

サッカーグラウンドを天然芝に

公園整備事業 3億3422万円

重信川かわまちづくりの一環として行うスポーツ施設等の整備



整備中のサッカーグラウンド

問 天然素材の人工芝ではなく天然芝にした理由は。

答 ランニングコストを含めた全体的な費用は、長期的には人工芝の方が高くなる。天然芝は、競技者の体に負担が少ないことから、各種大会での利用ニーズが高く、交流人口の拡大につながると考えている。また、CO₂の吸収など環境に優しく、整備効果の面においても天然芝に優位性があると判断した。

令和7年度 一般会計当初予算を可決

3月
定例会

一般会計予算 過去最大
212億7100万円
(前年度比 +9.0%)

全会計予算(一般・特別・企業)
336億3531万円
(前年度比 △ 1.0%)

第2回東温市議会3月定例会が2月28日から3月19日まで20日間の会期で開催されました。今定例会では市長提案の一般会計予算等26議案(予算11件、条例改正14件、人事案件1件)及び請願1件の合計27議案を審議しました。



本会議の動画はこちらから視聴できます。

沿線4市町が支援

環境配慮型郊外電車整備事業 800万円

伊予鉄道の新型車両導入に対する補助



導入した新型車両

問 事業の経緯は。

答 伊予鉄道郊外電車の車両は老朽化が進んでおり、環境配慮型の新型車両の導入計画を決定した。

令和6年度から令和8年度にかけて毎年3両×2編成の6両ずつ、18両導入する計画だが、令和7年度以降、環境省の補助額が減額となることから、その減額分について愛媛県と沿線の4市町が協調して支援を行い、事業者の負担を軽減することとした。

2年間で解体撤去

クリーンセンター解体撤去事業 8億308万円

令和3年度末で操炉を終了したクリーンセンターを令和7・8年度で解体撤去

問 ダイオキシンはどこが最終処分するのか。

答 その場で薬品を使って中和する方法で撤去するため、請負業者が薬品を取り扱う業者に依頼し対応することとなる。

値上げ分の半分を補助

学校給食食材費物価高騰対策事業 808万円

値上げとなる学校給食費の一部を補助



給食の配膳例

問 1食当たり30円の値上げに対し15円の補助としたのはなぜか。

答 4月分から幼小中一律30円値上げを決定しているが、一度に30円の値上げは保護者負担が大きいため、令和7年度は15円、令和8年度は30円と値上げを段階的にすることで、保護者負担の軽減を図ることとした。

文教市民福祉委員会において、補助額15円を30円に増額することを検討してはどうかとの意見が出され、財源について執行部と調整を図ったが、現時点で財源を確保することができないことを確認した。



撤去されるクリーンセンター

令和7年1月臨時会提出議案

報告

報告1 専決処分の報告
損害賠償の額の決定

条例

議案2 手数料徴収条例の一部改正

令和6年度補正予算

議案1 東温市一般会計補正予算（第8号）
9ページ参照

令和7年3月定例会提出議案

令和6年度補正予算

- 議案3 一般会計補正予算（第9号）
- 議案4 介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案5 田窪第2工業団地特別会計補正予算（第2号）
- 議案6 吉久工業団地特別会計補正予算（第2号）

令和7年度当初予算

- 議案7 一般会計予算
4～6ページ参照
- 議案8 国民健康保険特別会計予算
- 議案9 後期高齢者医療特別会計予算
- 議案10 介護保険特別会計予算
- 議案11 吉久工業団地特別会計予算
- 議案12 水道事業会計予算
- 議案13 下水道事業会計予算

その他

諮問1 人権擁護委員候補者の推薦

請願

請願1 「最低賃金の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願
6ページ参照

条例改正

- 議案14 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- 議案15 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- 議案16 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正
- 議案17 市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び東温市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 議案18 市職員の給与に関する条例の一部改正
- 議案19 特別会計条例の一部改正
- 議案20 国民健康保険税条例の一部改正
- 議案21 福祉基金条例の制定
6ページ参照
- 議案22 子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- 議案23 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 議案24 国民健康保険条例の一部改正
- 議案25 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 議案26 都市公園条例の一部改正
5ページ参照
- 議案27 公共下水道条例の一部改正

賛否が分かれた議案（他の議案は全員賛成で可決されました。）

議案	安井 浩二	相原 真知子	丹生 谷美雄	細川 秀明	亀田 尚之	渡部 勇次	永井 大介	大西 正之	小島 建三	高須 賀広一	大西 良也	渡部 一恵	森田 和幸	高須 啓治	浜田 瑠華	議決結果 (賛成：反対)
議案第3号	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:2)
議案第7号令和7年度一般会計予算に対する修正案(天然芝整備事業削除)	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	否決(7:8)
議案第7号	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決(10:4)
議案第21号	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決(10:4)
請願第1号	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択(2:12)

○賛成 ×反対 議長（亀田 尚之）は採決に加わらない。
※議長裁決。（議長裁決とは：可否同数の場合のみ可決又は否決を議長が決めることができる）

寄附金を基金にして活用

福祉基金条例の制定

制定内容

社会福祉協議会で管理されていた寄附金が返還されることから、新たに基金条例を制定するもの。

問 基金に移す必要性は。

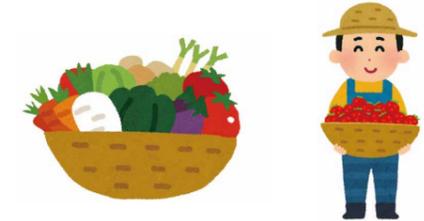
答 市議会12月定例会において、寄附金（田尾基金）を財源とする児童公園整備事業は削除され、補正予算案は修正されたが、寄附金の返還は、社会福祉協議会理事会及び評議員会の承認を経て決定された方針であることから、市としては受け入れる考えである。寄附金を市に帰属させ、これを原資とする「東温市福祉基金」を設置し、今後、寄附者の遺志に沿う事業に活用する。

研修生年間7人受け入れ

新規就農研修センター支援事業

725万円

JAえひめ中央が行う新規就農研修センターの運営費の助成



問 補助金の原資は。

答 県の補助金と農業振興基金を活用して研修センター運営費の一部を助成する。令和7年度予算執行後の基金の残高は約2540万円を見込んでいる。令和8年度以降も研修センターの運営費の助成に充てる予定である。

1つの窓口で簡単手続き

窓口DX推進事業

5353万円

来庁者に分かりやすい快適な窓口環境の整備



問 事業の内容は。

答 窓口DXの取り組みにおける「書かないワンストップ窓口」(*)の導入に伴い、庁舎1階窓口のレイアウトを変更し、カウンターの整備や来庁者誘導サインの整備などを予定している。

※「書かないワンストップ窓口」とは住所異動などの手続きを、1か所の窓口で申請書に記入することなく受け付けることで、市民の利便性の向上と職員の業務効率化を実現する取り組みのこと。

請願・討論

「最低賃金の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願

政府は、最低賃金を全国一律制度に改正すること。

審査結果

請願審査を付託された総務産業委員会では賛成少数で「不採択」、本会議でも賛成少数で「不採択」となった。

賛成 小島 建三



物価高から暮らしを守り、経済を回復・発展させるため、賃金引上げを加速させ、国民の消費購買力を高めるよう、最低賃金を早急に全国一律で1500円に引き上げることを求める。

反対 高須 啓治



現在政府にて、中小企業・小規模事業者の生産性の向上や価格転嫁の取引条件の改善等、施策を総動員して全力で対応している。事業者の体質強化策が優先である。

総務産業建設委員会視察

委員長 細川 秀明



3月10日、令和7年度一般会計等に係る事業内容の確認のため、現地視察を行いました。新たな事業の推進により、産業振興の期待がかかります。

新規就農研修センターへ受け入れ開始

研修センターは、敷地3.6haと全国トップクラスの規模で、年間7人の研修生を受け入れ、イチゴ、水稲、里芋等、花木などの栽培技術や経営知識などを2年間で学ぶこととなっています。市は、研修センターを運営するJAえひめ中央に対し、県の補助事業を活用し支援を行います。



新規就農センター

吉久工業団地造成・分譲企業選考へ

令和7年度に、道路・造成（西）・舗装・上下水道の工事を行い、水道施設の移転により、年度末の完成予定となっています。令和8年度には、分譲地引渡しの見通しです。今後は、工業団地分譲企業の選考へと移り、企業誘致によるまちづくりを推進します。



吉久工業団地

文教市民福祉委員会視察

委員長 大西 正之



3月11日、令和7年度一般会計等に係る事業内容の確認のため、現地視察を行いました。経年劣化に伴う施設の改修工事が多くなっています。

東谷小学校屋内運動場へ耐力度調査に基づき改築

本年度は、南吉井小学校中校舎教室棟長寿命化改修工事と東谷小学校屋内運動場改築工事が予定されています。特に東谷小学校屋内運動場においては、耐力度調査により総合的に判断した結果、建て替えることになりました。



東谷小学校屋内運動場

いわがらこども館へフェンス等の改修を実施

玄関前広場にある木製フェンスの傷みが見られ、すべてスチール製フェンスに取り替えます。屋外の受変電設備や館内の照明設備も新しくします。また、併設されている北吉井放課後児童クラブおおい組の照明設備やトイレも改修して利用しやすくします。



いわがらこども館

文教市民福祉委員会

委員長 大西 正之

1月臨時会において、学校給食費の補助に関する議案が上程された件について、委員会で協議検討した結果、今回の補正が1月から3月までの期間限定であり、継続的な支援が必要であることから、1月29日市長に対し、「学校給食費の補助に係る申し入れ」を行いました。

申し入れ内容

食料費の高騰は今後も続くことが予想されるため、引き続き、保護者の負担増とならないよう、学校給食費への補助を行うこと。



1月臨時会



本会議の動画はこちらから視聴できます。

第1回東温市議会1月臨時会が1月24日から1月28日まで5日間の会期で開催されました。

今臨時会では市長提案の一般会計補正予算等3議案（報告1件、補正予算1件、条例改正1件）を審議しました。

教職員の駐車場用地に

小学校管理費

3079万円

学校用地購入に要する経費

具体的な用途は。

南吉井小学校の教職員の駐車場として整備する予定である。現在、よしいのこども館の駐車場を共有しており、一部の教職員は校舎の西側に駐車している。今後、隣接地を教職員駐車場として使用すれば、よしいのこども館の駐車場は保護者の送迎や一般の来校者の車両が駐車することもでき、送迎時の混雑も軽減されることが考えられている。

物価高騰に対する支援を実施

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市民や事業者に対する支援事業

各種証明コンビニ交付サービス事業 44万円

障がい者・高齢者福祉施設等物価高騰対策応援給付金支給事業 1363万円

住民税非課税世帯物価高騰支援給付金支給事業 1億6685万円

私立保育施設物価高騰対策応援給付金支給事業 280万円

医療機関等物価高騰対策応援給付金支給事業 1994万円

学校給食食材費物価高騰対策事業 351万円

交付金の取り扱いをどのように決めたのか。

令和6年度補正予算第1号の閣議決定を踏まえた重点支援地方交付金の取り扱いについて、内閣府から出されている通知がある。それに記載されている推奨事業メニューにより決定した。

推奨事業メニューに係る交付限度額は1億263万円となっている。今回、1月補正予算において4047万円を充当しており、残りは6216万円となっている。令和7年度中に使用する必要がある。

上林小学校卒業生へ未来に向かって



菅野 由芽さん

小学校での思い出を大切に、自分を励みながら頑張りたいです。



石山 結由さん

中学校でも、小学校で経験したことを生かして、さまざまなことに挑戦していきたいです。



森 悠貴さん

中学校での新しい先生や友達との出会いを大切にしながら、元気に生活していきたいです。



森 汐里さん

小学校での思い出を胸に中学校生活をスタートさせ、これからもたくさん思い出を作りたいです。

問 ①災害備蓄用の米・パン・水等の備蓄量は、
②品目別の備蓄数
③安心して避難できるために必要な備蓄は。

答 ①食料は旧給食センターと川内支所の2か所に、資材等は旧給食センターと各避難所の防災倉庫に備蓄している。
②備蓄量は、アルファ化米5100食、保存パン4860食、

南海トラフ巨大地震などの大災害への備えを



こしま けんぞう 議員
小島 建三



味噌汁500食、乳児用ミルク252本、飲料水2万5400本、扇風機9台、簡易トイレ94台、マンホールトイレ34基、毛布2207枚などである。副食、ミルクはさらに備蓄の調整を図る。
③災害物資・機材等の備蓄を計画的に行う。(危機管理課長)



南吉井小学校にある防災倉庫

問 ①性的マイノリティへの市としての向き合い方は、
②パートナーシップ制度・ファミリースイップ制度の導入を、
③性的マイノリティへの具体的施策は。

パートナーシップ制度の導入を

答 ①性的マイノリティへの市としての向き合い方は、
②パートナーシップ制度・ファミリースイップ制度の導入を、
③性的マイノリティへの具体的施策は。

問 ①小学校給食無償化への流れに対する認識は、
②国に先んじて本市でも無償化実施を、
③国の方針が決定次第、適切かつ速やかに対応したい。(市長)

国に先んじて小学校給食の無償化を

答 ①「LGBT理解増進法」を踏まえ、正しい知識の普及啓発活動の推進に取り組む。
②慎重に対応、検討する必要がある。他の自治体の動向を注視しながら調査研究する。
③人権講座等でのこの問題を積極的に取り入れていきたい。(社会福祉課長)

問 ①松山圏域消防指令センター運用に伴う効果と課題は、
②職員3人の派遣による業務への影響は、
③消防職員定数の増員検討は。

消防体制のさらなる充実を



たかす か ひろいち 議員
高須賀 広一



②救急件数の増加や災害が重複する事案の急増により、日勤職員の補充や非番職員の招集に頼らざるを得ない状況もある。
③今後、消防職員定数の適正化について調査研究していく。(消防長)



松山圏域消防指令センター

問 ①川内健康センター2階の「サーイドプレイスふれあい」を利用するためのエレベーターや階段昇降機の設置を、
②市役所正面駐車場に誘導員の配置を、
③施設全体の活用方法について、

問 ①市民の防犯意識の醸成のための啓発活動は、
②防犯用品の個人住宅向けの助成制度の導入を。

防犯対策の強化を

答 ①詐欺等防止チラシの配布や声掛けを行うなど注意喚起を促す啓発活動を行っている。
②現在のところ実施する予定はないが、他の自治体の事例等を調査研究していく。(危機管理課長)



3月定例会 一般質問

10議員が 市政を問う!!

各議員の枠内にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。

3月4日

- 1** 南海トラフ巨大地震などの大災害への備えを
 - 2** パートナーシップ制度の導入を
 - 3** 国に先んじて小学校給食の無償化を
- こしま けんぞう 議員
小島 建三
- 1** 消防体制のさらなる充実を
 - 2** 高齢者等に優しいまちづくりを
 - 3** 防犯対策の強化を
- たかす か ひろいち 議員
高須賀 広一
- 1** 市民の負担にならないごみ出しに
 - 2** 投票時間の繰り上げは
- たかす か けいじ 議員
高須賀 啓治
- 1** 全市民に対して物価高騰対策支援金を
 - 2** ごみ出しの不便さ解消を
 - 3** 行かない窓口・書かない窓口の実現を
- はまた る か 議員
浜田 瑠華
- 1** 地元協働による公園管理の方向性は
 - 2** 巨大地震臨時情報の教訓とは
- ほそかわ ひであき 議員
細川 秀明

3月5日

- 1** 積極的な介護予防策で保険料の抑制を
 - 2** 学校における1人1台端末使用の現状は
 - 3** 防災士の技能向上と連携体制の構築を
- わたなべ ゆうじ 議員
渡部 勇次
- 1** 農業振興の取り組み状況は
- おおにし よしなり 議員
大西 良也
- 1** 吉久工業団地に続く工業団地開発
 - 2** 空き家対策
 - 3** 小中学生の地域行事の参加
- やすい こうじ 議員
安井 浩二
- 1** ふれあい給食サービス事業の継続は
 - 2** 紙おむつの補助について
※介護人材不足について
- わたなべ かずえ 議員
渡部 一恵
- 1** 電子地域通貨の導入を
- もりた かずゆき 議員
森田 利幸

*QRコードでご視聴ください。

市民の負担にならないごみ出しに



たかすか けいじ 議員



問 ①旧重信地区を旧川内地区と同様に燃やすごみ置場にプラごみ等を出せるようにし、東温市内全域を平等にできないか。

答 ②高齢者等ごみ出しサポート事業の状況と適用条件の再検討は。
③ごみ分別促進アプリ「さんあゝる」の導入は。

問 ①現在の収集委託料（年間約3千万円）の2倍以上の



川内地区のごみ集積所

費用がかかる。また、びんやガラス類のコンテナを設置する場所の確保が必要になるなどの課題を考慮する必要がある。課題等を調査研究し、少しでも平等に近づけるようにしたい。
②令和7年2月17日現在で問い合わせのあった22人のうち10人が事業適用対象となった。条件については、もう少し経過を見て市民の声を聞き考えていきたい。
③アプリには、検索機能以外にも市からお知らせ、ごみカレンダー等の機能がついているので、機能性や有用性等、調査研究していきたい。（環境保全課長）

地元協働による公園管理の方向性は



ほそかわ ひであき 議員



問 ①地元管理による清掃管理委託業務の中で、実施基準の点検状況は。
②利用者の利便性把握については。

答 ③川内体育センター多目的広場を整備するための、タイムスケジュールは。

問 ①地域ボランティア活動の一環として、一律の管理基準は設けていないが、週に1度の職員巡回と月に1度提出される「公園清



公園整備が待たれる川内体育センター多目的広場

掃管理報告書」により、実施状況の確認を行っている。公園管理の協定や覚書の内容が現状に即していない場合は、管理内容を見直すことも考えている。
②地元管理者と意見交換を行うとともに、公園利用者にも聞き取りを行うなど、利用状況の把握に努め、さらなる利便性の向上を図っていきたい。（産業建設部技監）
③現在の利用状況を踏まえ、利用者や地域の意見を聞きながら、令和8年度以降に、駐車場や東屋、複合遊具、トイレ等の整備を、順次進めていきたい。（生涯学習課長）

投票時間の繰り上げは

問 ①開票作業終了時間を早くするため投票時間を1時間繰り上げるなど見直しは。

答 ②移動期日前投票所の導入は。

①7月に予定されている選挙にて7時から8時及び19時から20時の投票数を検証し、判断材料の一つとしたい。
②現時点では導入予定はない。今後投票所の統廃合を検討し人材確保ができれば導入も一つの判断になると考える。（選管書記長）



21時頃より開票作業を始める職員

巨大地震臨時情報の教訓とは

問 地域防災計画の修正内容から実行性ある防災対策につなげられるか。

答 令和6年度は、「南海トラフ臨時情報」発令時における災害対応体制を見直し、発令後すぐに担当課が対応する体制の構築、災害対策本部の機能強化を目的とした修正を行っている。本市は災害が少ないこと、また、大規模災害対応の事例も少ないことから、毎年実施する水防工法訓練や総合防災訓練をはじめとした各種訓練を重ねることに、その訓練で生じた問題点や課題を地域防災計画に反映させていく。また、被災事例を参考にすることで、同計画の充実を図り、実行性のあるものとなるよう努める。（総務部長）

全市民に対して物価高騰対策支援金を



はまだら 瑠華 議員



問 ①課税・非課税世帯の区別ない全市民への支援に対する市の見解は。

答 ②物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の限度額、本市に交付されている額及び残額は。

①今後、臨時交付金の追加交付等財源が確保できれば、全市民を対象とした事業も検討したい。
②限度額は1億262万7千円、財源として既に充当した

金額は5106万3千円、残額は5156万4千円となっている。（総務部長）

ごみ出しの不便さ解消を

問 ①高齢者等ごみ出しサポート事業の利用者数及び職員対応状況は。

答 ②燃やすごみの集積所に資源ごみも出せるようにする考え及び費用は。

①現在の利用者数は10人。リサイクルセンターの職員2人で対応している。
②現時点では燃やすごみの集積所に資源ごみも出せるようにする考えはない。追加の費用は概算で現在の委託料（年間約3千万円）の2倍以上と予想される。（環境保全課長）

行かない窓口・書かない窓口の実現を

問 ①市の行政手続きのうちオンラインで完結できるも

の割合と利用状況及び今後の指針は。
②書かない窓口の導入時期は。
①国の示すオンライン化を推進すべき手続きのうち本市で該当するのは49手続きである。そのうちの39手続き（79.6%）でオンライン手続きができる。利用状況は40.9%（令和5年度）である。できるだけ早い段階で全ての手続きのオンライン化を進めていきたい。
②令和8年2月のサービス開始を目指す。（企画政策課長）



コンビニ納付できるようになった国保税の納付書

積極的な介護予防策で保険料の抑制を



わたなべ ゆうじ 議員



問 ①本市の介護保険料が高い要因と今後の見直しは。

答 ②介護保険料の上昇を抑える施策の推進を。

①介護給付費の支給額が高い状態ではあるが、介護サービスを利用しやすい環境が整備されており、安心して暮らせることにもつながっている。当面、介護保険料は大きく変動しないと考えている。

②地域の中での「通

いの場」を拡大するなど、介護予防事業を推進し、可能な限り介護サービスに頼らない生活を維持していただくことで、介護保険料の上昇を抑え、市民の負担軽減につなげていきたい。（長寿介護課長）



自主運動グループ（川内公民館にて）

学校における1人1台端末使用の現状は

問 ①端末の故障の現状は。

答 ②端末の使用頻度及び成果と課題は。

①ソフトウェア異常やバッテリーの寿命による交換等の修理など、令和6年度で192件あった。費用は、令和6年度が約100万

防災士の技能向上と連携体制の構築を

問 ①防災士資格者の数の推移は。

答 ②防災士相互の連携体制の構築を。

①資格取得者数は年々増加している。令和6年度末の見込みでは、全体で212名、うち女性の比率は約17%である。
②防災士のスキルを磨くための研修会や防災訓練への積極的な参加を呼び掛けるとともに、近隣の自主防災組織が共同で活動できる場の創出に努める。（危機管理課長）

円程度である。
②全学校において、ほぼ毎日、何らかの授業で活用している。情報を収集する力やプレゼンテーション能力の向上などにつながっている。今後、適切な情報活用能力の育成や効果的な学びの提供に取り組んでいく。（学校教育課長）

農業振興の 取り組み状況は



おおにし よしなり 議員
大西 良也



問 第2次東温市総合計画前期基本計画では、機械設備導入補助や交付金による経営支援及び農業基盤整備等により、農業の持続的な発展を図り、支援を行ってきたとあるが、後期基本計画における農業振興の取り組み状況は。

答 前期基本計画からの取り組みや各種支援事業を継続するとともに、さらに後期では地域農業の設計図となる地域計

画の策定や、新規就農者の育成・確保を目的に新規就農研修センターへの支援を行っている。(農林振興課長)

問 担い手農業者機械等導入支援事業の内容と実施状況は。

答 経営規模の拡大や改善に取り組み認定農業者等へ県と市が一体となって2分の1以内の補助を行っている。過去5年間の平均では6・2件で、補助金は126万1千円となっている。(農林振興課長)

問 将来の農業の担い手として期待される新規就農者を迎える新規就農研修センターに対する市の支援内容は。

答 研修センターの整備に係る事業費4分の1については、農業振興基金を活用して補助を行う。令和7年度以降のセンター運営経費については、県と市で2分の1の補助を行う予定で、J Aえひめ中央と

連携し新規就農者の本市での定着に取り組んでいきたい。(農林振興課長)

問 中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払交付金事業は地域農業農村環境の維持に当たって欠かせないものとなっているが、今後の方針は。

答 国の動向に注視しつつ、集落組織の意見等を伺いながら、組織の広域化や農作業の省力化に関する活動を推進していきたい。(農林振興課長)



新規就農研修センター

吉久工業団地に続く 工業団地開発は



やすい こうじ 議員
安井 浩二



問 吉久工業団地に続く工業団地開発の進捗状況は。

答 川内IC周辺の産業用地として、南方工業団地の検討をするため、基本計画の策定を予定している。具体的には四国乳業の西、東など周辺を候補地として検討している。(産業建設部長)

問 空き家対策

答 1039軒の空き家を抽出し、実態把握調査を実施した。建物の状態や敷地の管理状態が良好で利活用に向く空き家が283軒、管理不全の状態の空き家が



吉久工業団地 令和7年度完成予定

を検討している。(技監・都市整備課長)

小中学生の地域行事への参加

問 小中学生の地域行事への参加についての教育委員会の考えは。

答 子どもたちを育てていくためには、家庭や学校の教育だけではなく、地域社会の支えも重要なものであり、それらを充実したものにするためにも、子どもたちにはこども会や健児団へ加入し、積極的に地域行事に参加してほしいと考えている。(教育委員会事務局局長)

ふれあい給食サービス 事業の継続は



わたなべ かずえ 議員
渡部 一恵



問 今年度で事業を終了することについて市として相談を受けたのか。

答 ①事業の経費増加も要因の一つだが、ふれあい給食事業利用者には、今後の利用について意向調査を行ったところ、7割以上の方が利用継続の意思がない、家族と同居中、または普段から介護サービスを利用しており、事業終了

後も安否確認はできるといふ結果となったことから、事業終了の方針となった旨、社会福祉協議会から説明があった。

地域の見守りや高齢者の安否確認を目的とする事業を社会福祉協議会で実施する意義があると考えるので、新たな形での事業展開をお願いした。

問 現在社会福祉協議会では、新たな見守り事業を計画中であり、今後、事業に対する補助金の要望があれば内容を確認し、予算化について検討したい。(社会福祉課長)

紙おむつの補助について

問 東温市で助成事業が実施されていない理由は。

答 ①紙おむつが必須な方への助成については、在宅で常時おむつを使用している要介護2以上の方を対象に、社会福祉協議会が実施していることから、市においては同様の助成事業は実施しない。

問 慎重に判断する必要があると考えられる。(長寿介護課長)

問 社会福祉協議会は令和5年度から新規受付を停止しているが、市として制度を継続できないか。

答 他市町で実施をされているところもあるようだが、東温市として実施することとは現時点では考えていない。(長寿介護課長)



電子地域通貨の 導入を



もりた かずゆき 議員
森田 和幸



問 愛媛県内の市町と連携し、電子地域通貨を導入することにより、地域内経済循環を図ることに、市の見解は。

答 県内自治体で導入効果や課題について共有し、足並みをそろえて取り組みを進めることが効果的であるが、現在県内でそのような動きはない。(企画政策課長)

問 電子地域通貨を導入するための必要予算は。

答 どのような制度設計にするかにより大きく変動するため、現段階で具体的な予算額を示すことはできない。システム開発費や運用費、広告費、また、ポイントを付与するのであれば、その原資など、多額の費用がかかると思われる。(企画政策課長)

問 電子地域通貨導入に向けた本市の見解は。

答 組への加入率やイベント参加率を上げるためにポイントを付与することは、市民協働のまちづくりによる地域活性化につながる可能性があるものと認識している。

一方で、導入にはシステム運用やポイントの原資等に多額の費用がかかることや、特に高齢者層など、デジタル技術に不慣れな層への配慮が必要

であること、また、制度の円滑な運営に不可欠となる専門的な知識やノウハウを持つ人材の確保など、課題も多いことから、費用対効果も含め慎重な検討が必要と考える。(企画政策課長)





人シリーズ

東温市のブランド茶を めざして

キラッとかわのうち

代表 なかの 中野 としひこ 敏彦さん
(河之内)



「まめっこ弘法茶」は、当初、河之内問屋地区で栽培・加工・販売されてきた「滝のつゆ」を再生したもので、健康を重視したお茶として皆さまに愛飲いただいています。無農薬・無肥料で栽培したカワラケツメイ草を乾燥・焙煎しており、ポリフェノールを多く含むノンカフェインの大変香ばしいお茶です。「弘法茶」は弘法大師が、高知県室戸で、若

かりし頃の修行時に、お茶代わりに健康維持のために飲んでいただいたのいわれもあり、弘法大師に感謝しているところですが、販売開始から約10年を経過していますが、年々愛飲者も増えてきており、今後とも東温市のブランド茶として地域のメンバ―と共に頑張っていきたいと考えています。ご愛飲よろしくお願いたします。



SAKURA select 選定品
まめっこ弘法茶



6月定例会のお知らせ(予定)

日	月	火	水	木	金	土
6/8	9	10	11	12	13 開会 総務・文教 委員会	14
15	16	17 一般質問	18 一般質問	19	20 質疑 予算委員会	21
22	23 調査日 (総務)	24 調査日 (文教)	25 総務委員会 分科会	26 文教委員会 分科会	27	28
29	30	7/1	2 予算委員会	3 閉会	4	5

本会議 議場での会議

※総務委員会は、総務産業建設委員会
文教委員会は、文教市民福祉委員会を略して記載

議会インターネット 中継

市のホームページで議会開会中、生中継がご覧になれます。
また、過去の録画中継もご覧になれます。



東温市
イメージキャラクターいのとん



市議会ページ



マチイロ

議会だよりが
スマホで読めます。



編集後記

読むだけだった議会だよりの編集に携われるようになったことに嬉しさと責任を感じています。市民にわかりやすいものをお届けするにはどうすればよいか、ページずつ協議して作り上げます。今回取材にも同行させていただき貴重な経験となりました。
新人議員だからこそその新鮮な視点を取り入れていけるよう頑張ります。
今後さらにパワーアップする議会だよりに乞うご期待。
(浜田 瑠華)

発行責任者 亀田 尚之
議会だより編集委員会

委員長 渡部 勇次
副委員長 丹生谷美雄
委員 安井 浩二

大西 良也

渡部 一恵

森田 和幸

高須賀啓治

浜田 瑠華